



東京都中学校理科教育研究会

平成27年3月2日

## 会長だより

会長 田中 史人

今年度最後の役員会となりました。5月に行われた総会から本日まで、各部・各委員会の活動、研修会や研究授業、発表会など、都中理の活動の中心となって積極的に行っていたことに感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

次年度、5月15日（金）、都中理総会（場所は未定）を予定しています。この後、各委員会と各部で平成27年度の活動計画の作成をお願いします。それをもとに、事務局で27年度の活動計画の作成と予算計画処理を総会に向けて進めていきます。ご協力をお願いします。

「第60回 東京都中学校生徒理科研究発表会」が1月24日（東部地区）・25日（西部地区）で日本化学会を会場にして行われました。今回は2日間で22地区からの代表生徒による発表が行われました。研究部の先生方をはじめ発表校の先生方にはお忙しいところご尽力いただきありがとうございました。今回は60回の記念大会ということで、全中理顧問の五十嵐邦享先生から「生徒研究発表会のこれまでとこれから」というテーマで2日間にわたり記念講演をしていただきました。また、各学校の発表も充実した内容になっていたと感じました。ご指導にあたった先生方、ありがとうございました。

※1月22日、**中学生科学コンテスト運営委員会**が行われました。会議の中で平成27年度の「中学生科学コンテスト」が8月30日（日）に2校の都立高校を会場（場所は未定）として行われることに決定しました。3人が1組のチームを作り、筆記試験や実技試験を行い順位を競う大会です。平成26年度は176チーム、528名の参加がありました。

募集案内はこれから各学校に発送されます。募集期間は5月11日から6月5日です。開催通知は7月6日に通知されます。多くの学校の参加をお願いします。この大会の上位2チームは、12月4日（金）～6日（日）に行われる「**第3回 科学の甲子園ジュニア 全国大会**」に出場することができます。第3回大会は第2回と同様の場所である、「BumB東京スポーツ文化館」を開催場所として実施することが決まっています。都中理では昨年度と同様に、「**中学生科学コンテスト**」を支援してまいります。ご協力をお願いいたします。

2月6日（金）江東区立亀戸中学校で行われた、**研究開発委員会指導資料説明会**に参加してきました。「外部人材や教材を効果的に活用することで、科学に関する基礎的素養の大切さを実感し、実生活における有用感と関心・意欲の向上を図る指導法の開発」を研究主題として1年間の研究の成果を発表が行われました。当日は多くの参加者があり、質疑等も積極的に行われていました。また、2月16日（月）文京区立茗台中学校で行われた、**教育研究員部会別発表会**に参加してきました。今年度は研究主題に「科学的な思考力・表現力等を高めるための授業改善 ～課題に対して、根拠を持って仮説を立て、検証していく力を高める指導法の工夫～」というテーマで行われました。子供たちは実験を通して、自身の意見や考えを一人一台ずつ用意されたPCを使い結果の予想や、まとめ・考察・発表を積極的に行い授業に取り組んでいました。

この後、3月5日に行われる**環境教育委員会の研究授業（原子力とその利用）と研修会（放射線の問題と廃棄物処理の基礎知識）**をはじめいくつかの研修会などが予定されています。できる限り多くの会員の先生方が参加できるような体制を作りたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

※福島第一原発・第2原発、広野火力発電所の視察について現在計画中です。詳細が決まりましたらお知らせいたします。